

性能確認試験走路「道夢道」に太陽光発電システムを導入しました

2021年11月24日
積水樹脂株式会社

積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区 代表取締役会長 兼 CEO：福井彌一郎）は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、滋賀工場内にある性能確認試験走路「道夢道(どうむどう)」に太陽光発電システムを設置し、運用を開始しましたので、お知らせいたします。

■ 性能確認試験走路「道夢道」

交通安全製品や景観資材の性能・品質を実際の使用条件下で実験する試験走路と研究施設です。製品の信頼性向上や製品開発のスピードアップをはかるため、視認性・施工性・景観性・耐久性などを検証・評価しています。

所在地：滋賀県蒲生郡竜王町（積水樹脂(株)滋賀工場内）
 走路の幅員：車道幅員9m 歩道2m 計11m
 走路の延長：700m（直線部・カーブ部・橋梁部含む）



■ 太陽光発電システムを導入



道夢道内の法面に太陽光発電パネルを設置。発電した電力により、道夢道内の全電力消費をまかなうとともに、余剰分は滋賀工場の生産活動に活用します。



積水樹脂グループでは、今後も再生可能エネルギーの積極的な活用をはかり、脱炭素への取り組みを強化してまいります。また、「持続可能な社会の実現に向けて、世界の人々の安全・安心と快適な暮らしを支えること」を基軸に、事業活動を通じて交通安全、防災・減災、インフラメンテナンス、環境負荷の低減など様々な社会課題の解決に貢献するべく、鋭意取り組んでまいります。